

会 議 録

作成月日	令和7年12月5日(金)	作成者職・氏名	政策企画係長 鈴木 達也
会議名称	令和7年度第2回大和町総合計画審議会		
開催日時	令和7年11月25日(火) 9:30~12:05		
開催場所	大和町役場3階301会議室		
出席者	<p>○大和町総合計画審議会委員 17名(別添名簿参照)</p> <p>○町関係者：町長 浅野 俊彦 総務課長兼危機対策室長 児玉 安弘, 財政課長 佐々木 克敏, 子ども家庭課長 小野 政則, 福祉課長 早坂 基, 健康推進課長 大友 徹, 農林振興課長 阿部 晃, 商工観光課長兼企業立地推進室長 星 正己, 都市建設課長 江本 篤夫, 上下水道課長 亀谷 裕, 教育総務課長 菊地 康弘, 生涯学習課長 浪岡 宜隆</p> <p>○事務局：まちづくり政策課 課長 遠藤 秀一, 課長補佐 小野 ゆかり, 係長 菅野 諭志, 係長 鈴木 達也</p> <p>○委託業者：株式会社国際開発コンサルタンツ仙台支店 平間 (合計35名)</p>		
議 事	<p>(1) 大和町第五次総合計画に基づく実施計画(前期計画)重点プロジェクト (まち・ひと・しごと創生総合戦略)事業の令和6年度の実施状況について</p> <p>(2) 大和町第五次総合計画(改訂版素案)について</p> <p>(3) 大和町第五次国土利用計画(改訂版素案)について</p>		
	司会進行：まちづくり政策課 遠藤課長		
事務局 (遠藤)	<p>開会に先立ち本日の出席者数をご報告させていただきます。本日の審議会は、出席者17名、欠席者3名であり、大和町総合計画審議会条例第5条第2項の規定に基づき、委員の半数以上の出席を賜っておりますので、会議が成立することをご報告申し上げます。</p>		
	1. 開会		
事務局 (遠藤)	<p>それでは、ただいまより令和7年度第2回大和町総合計画審議会を開催いたします。</p>		
	2. 委嘱状交付		
事務局 (遠藤)	<p>はじめに、新たに審議会委員にご就任された方への委嘱状を交付いたします。遡及しての委嘱になりますが、委員の委嘱期間につきましては、令和7年8月21日より、総合計画審議会の諮問にかかる審議が終了までとして、予定では令和8年3月31日までとしております。</p> <p>それでは、委嘱状の交付をいたします。株式会社七十七銀行吉岡支店 支店長 菅原 芳隆 様お願いいたします。</p>		
	(町長より委嘱状を交付)		
	3. 開会の挨拶		

事務局 (遠藤)	開会にあたりまして、平岡会長よりご挨拶を申し上げます。
平岡会長	<p>皆様おはようございます。本日は大変お忙しい時期にお集まりいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>今月になり各地で熊の話題で持ち切りですが、本学も山に囲われておりまして、ニュースでご覧になった方も多いかと思いますが、頻繁に熊が出没しております。学生の安全確保のため、今月はもう全てオンライン授業ということにしております。また、逆に人の気配がなくなると出てくるようであり、この3連休も学生たち、教職員も来ておりませんので、また熊の危険があるという状況です。</p> <p>この安全確保に関しましては、大和町長をはじめ、町職員の皆様方、警察署の皆様方に安全確保していただいて大変感謝しております。</p> <p>本日は、第2回の総合計画審議会ということで、これまでご議論していただきました第五次総合計画の改訂案と、国土利用計画についても改定案が挙げられております。さらに、今日の議事の一番目にあります「まち・ひと・しごと創生総合戦略の令和6年度の実施状況について」ということで、こちらの評価についてもご議論を頂くということで、本日は各担当課室長の皆様方にもご出席いただいておりますので、委員の皆様方からも活発なご意見をいただきますようお願いしたいと思います。</p> <p>それでは本日はどうぞよろしくお願いたします。</p>
事務局 (遠藤)	続きます、浅野町長よりご挨拶申し上げます。
浅野町長	<p>皆様改めましておはようございます。今年も早いもので残すところ1か月と1週間となりました。本当に年末に向けてのお忙しい中、午前中の会議にも関わらずご参加賜り、心から感謝を申し上げたいと思います。</p> <p>また、日頃より、まちづくり行政に対しまして深いご理解とご協力をいただいておりますことに、改めてこの場をお借りして御礼を申し上げたいと思います。</p> <p>先ほど平岡会長からも熊出沒のお話がありました。出沒の情報がなかなか絶えない中ではありますが、町としましても住民皆様の安全確保のため、小学校の帰り時刻に合わせましてパトロールを実施するとともに、ご通報いただいた場所につきましては、罾を設置させていただき、処分等をしているところです。また、皆様方には、生ゴミ等を前日の夜に出さないようご不便もおかけしているところではありますが、まだまだ冬眠しない熊もいるようですので、熊を目撃しましたら、情報提供をお願いしたいと思います。</p> <p>さて、総合計画におきましては、人口減少及び少子高齢化の進展に対応するとともに、将来にわたって活力ある街づくりを維持していくため、地方創生への取り組みを推進するため、計画中に重点プロジェクトを位置づけております。重点プロジェクトにつきましては、毎年数値目標等をもとに効果を検証し、必要に応じて改定することを国から求められておりますことから、本審議会におきまして評価検証を行っていただき進行管理をしていくこととしてございます。</p> <p>本日は、重点プロジェクトに位置づけている令和6年度の事業の実施状況及び評価検証、そして昨年より改訂を進めております総合計画及び国土利用計画の改訂草案がまとまりましたので、皆様方にお諮りをし、ご意見をお願いしたいというところでございます。</p>

(続き)	<p>なお、本日の審議会には、重点プロジェクト事業の担当課長も出席しておりますので、皆様には忌憚のないご意見を賜りますよう改めてお願いをし、簡単ではございますが、開会のご挨拶とさせていただきます。</p> <p>それではよろしくお願いいいたします。</p>
	4. 町職員紹介
事務局 (遠藤)	<p>続きまして、本日出席している町職員の紹介をいたします。</p> <p>(名簿順に課長紹介)</p>
	5. 議事
事務局 (遠藤)	<p>それでは、議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては、条例第5条第1項の規定により、会長に座長をお願いいたします。</p> <p>まずは、議事録署名委員の選出をしていただき、その後に議事に入らせていただきますようお願いいたします。</p>
平岡会長	<p>それでは、ここから議事の進行をさせていただきます。</p> <p>まずは、議事録の署名委員ですが、会長の私と、会長職務代理の松川様としますがよろしいですか。</p>
一同	意義なし。
平岡会長	<p>それでは、議事を進めたいと思います。</p> <p>「(1) 大和町第五次総合計画に基づく実施計画（前期計画）重点プロジェクト（まち・ひと・しごと創生総合戦略）事業の令和6年度の実施状況について」事務局より、説明をお願いします。</p>
事務局 (鈴木)	資料1により説明
平岡会長	<p>駆け足ではありましたが、資料1についてご説明をいただきました。</p> <p>基本目標1から4と4つありますが、まずは基本目標ごとにご意見をいただき、最後に全体を通してご意見があればいただきたいと思います。</p> <p>まずは基本目標1について、ご意見をいただきたいと思います。名簿には所属や区分が記載されていますが、別にそこに拘らずにご自身の守備範囲外のところのご意見ご質問でも構いませんので、何かありませんでしょうか。</p> <p>農林漁業や商工関連になるかと思いますが、文屋委員何かありませんか。</p>
文屋委員	<p>ただ今指名がありましたので、少し感じたことを述べさせていただきます。</p> <p>まず、4ページの農業関連事業の重要業績評価指数について、事業評価をEからCにしたと説明がありました。当初の目標に向かって進んでいるものの、不安定な天候や、国で行っている農業政策も2転3転し、大きな壁となっている状況で、中々思うような農営を展開することは難しいと思います。そのため、農業関連事業の評価は難しく、ある程度の主観を入れての評価でよろしいのではないかとということで、事業評価をEからCとしたということは、ある程度やむなしと考えます。</p> <p>そして、予算執行率が95.4%と高い農業環境整備事業ですが、この事業につきましては、イノシシなどの獣害により大分農地が荒らされていますので、農家に寄り添った事業であり、予算措置だと思っております。</p>

平岡会長	<p>今のご意見ですと、国の政策の影響等もありますし、今回調書にも具体的に実施した内容も記載されていますので、「予定通り達成できた」に見なせるのではないかというご意見でした。</p> <p>他にいかがでしょうか。商工や観光という分野ですと、浅井委員いかがですか。</p>
浅井委員	<p>話を聞いて少し難しいなと思っていたんですけども、今やはり米不足と言われていて、今年は米が高かったんですが、来年再来年も米価が上がっていくのではと不安がっている声も聞こえてきます。</p> <p>また、今後ですが、やはり高齢者の方があって法人などが成り立っていると思うんですが、若い人がもっと農業に魅力を感じて、就農していただけるといいと思います。多分役場の方も頑張っていると思うんですけども、農協でも頑張っていきたいです。</p>
平岡会長	<p>農業の高齢化や若者の就労といったご意見がありました。農林振興課長から何かそういったことに関してこういったことをやっていますなどありますか。</p>
農林振興課長	<p>全体として農業の後継者の高齢化が進んでおりまして、なかなか居なくなってきているのが現状です。1人で就労している方もおり、その手助けや災害の支援など進めていきたいと思っております。</p> <p>また、今後の農業者の皆様方と一緒に話をしながら新規就労とかそういうものを進めていく必要があるのかなと思っておりますので、いろいろご情報をいただけたらと思っております。よろしくお願ひします。</p>
平岡会長	<p>他に委員の皆様方から何かご意見ご質問ございませんか。観光面から今野委員ございますか。</p>
今野委員	<p>7ページを見て思ったのですが、観光案内をする場合に、最近やはり廃業していく商店が多く、商品開発ですとか物産とかの案内所で取り扱う商品が、だんだん少なくなってきた大変困っておりました。空き店舗に関することや、後継者に関するのをもう少しバックアップしていただければありがたいと思います。</p>
平岡会長	<p>私もご質問しようかなと思っていたところです。</p> <p>7ページの事業の課題改善内容で、新規改修の補助を終了して令和8年度からは家賃補助のみとすると記載されていますが、一応令和4年度から6年度と実績値としては数件あるという中で、縮小継続にするというところほどの理由があるのか、お願いいたします。</p>
商工観光課長	<p>本事業のうち、空き店舗改修支援は平成28年度から実施しており、開始から34件の実績があります。まず、この事業の打ち切りから考えたんですけども、今年度についても1件しか申込がないという状況で、現在、そのほとんどが飲食店からの申込になります。町内の飲食店と考えますと34件はかなり実績値としては大きいのかなと判断しております。</p> <p>一方、商品開発についてはその期間1件しか申請がありませんでした。商品開発については、今年度、農林振興課と宮城大学と協力し、新しい商品開発をやっていましたので、来年度また別の商品開発をやっていきたいと考えており、この事業とはまた別に切り離れたかたちで、継続してしていきたいと考えています。</p>
平岡会長	<p>空き店舗改修は、ある程度ピークが来たというお考えとのことでした。では、他にいかがでしょうか。</p>

出羽委員	教育的な面なのですが、ALTの配置についてと外国人の就労登用についての文面がまったく入っていないのですが、この辺はどのようにお考えなのかと思ひましてご質問させていただきます。
教育総務課長	ALTにつきましては、重点プロジェクトには記載されておりましたが、実施計画に掲載されておりました。
平岡会長	重点プロジェクトからは外れているけれども、一応、そういった施策は実施されているということによろしいですか。
事務局(鈴木)	はい。この重点プロジェクトのほかに実施計画というものを作成しております、そちらにも180事業ほど掲載しております。そのうち、地方創生に資する重要なものをこの重点プロジェクトに位置付けております。 なお、実施計画及び重点プロジェクトを編成したのは、令和3年度であり、後ほど説明する総合計画改訂素案ではそういった外国人の人材活用なども位置付ける考えであります。
出羽委員	分かりました。あと、文面で少し気になる文言があったので質問させていただきます。16ページの事業内容と実績で「大和町周辺地域への若い世代の定住を推進することにより、人口増加や学校教育(小学校機能)の維持」というのが、よくわからないのですが、学校教育の維持というのはどういうことですか。
事務局(鈴木)	人口増加や学校教育の維持という表現にはしているんですけども、こちらは若い世代の定住を推進することによって、小学校中学校の子ども数を増やし、複式学級を解消するなどといった目的でこういう記載としております。誤解を招くようですみませんでした。
出羽委員	学校教育環境の整備のようなことですか。
平岡会長	この学校教育(小学校機能)の維持という範囲が大きすぎるので分かりにくいところがあるというご指摘だと思います。一度検討していただければと思います。
平岡会長	それでは一旦基本目標1をここで切らせていただきまして、また後ほどお気づきの点等があればお願いいたします。 続きまして、基本目標の2について何かご質問ご意見ございましたらお願いいたします。交流促進と子どもまちづくりということで、教育関連で安藤委員から何かございますか。
安藤(真)委員	吉岡小学校改築事業ですが、環境が人をつくるということを本当に感じている1年です。素晴らしい環境を整えていただきありがとうございます。事業の進捗率は93%というところですが、校庭も整備していただいていますので、外を見ながら子どもたちも学習、そして運動に取り組んでいます。 また、ICTや先ほどのALTもあります、そういった学習環境も子どもの内面を育てる上では重要なものであり、そういうところで色々な方からたくさんのお力をお借りしていると思っています。 学校が子どもたちの種をまき、根をしっかりと生やして、将来まちづくりの力となるように花を咲かせたり、平葉を伸ばしたりというところで、教育格差というわけではありませんが、やはり経済格差というものを感じているところがあります。奨学金返還支援をはじめ、そういうところを公教育の中でしっかりと整えていただく必要があると思います。

<p>安藤（真） 委員</p>	<p>少し反省したところは、各種検定料助成事業ということで、自分の力を試すチャンスをお借りいただいているながら、実績は4.3%ということで、こちらは窓口である学校がもう少し働きかけなければいけないということと、子どもたちのやる気をそういうところで試すチャンスがあるということを知っていきたく思います。</p> <p>また、本校の来年度の1年生は4クラスになることではありますが、実際のところ、色々な学校と今後どうやって交流していくか検討する必要があります。学校間でも養護保障や、小中高連携などにより、子どもたちが交流しながらこの地域で学んで、逞しい子たちに育てていくのが我々の仕事だと思います。</p> <p>この恵まれた、充実した教育環境等を生かしていくよう校内で働きかけていきたいと思っています。</p>
<p>平岡会長</p>	<p>概ねこちらのプロジェクトについては、評価をいただいたと思います。他にいかがでしょうか。特に今ありませんようでしたら、次に進ませていただきたいと思っています。</p> <p>では、続きまして基本目標の3について、ご意見ご質問をお願いいたします。安海委員、いかがでしょうか。</p>
<p>安海委員</p>	<p>中々結婚していない方も多く、子どもが増えないというのをひしひしと感じています。特に、私が担当している主任児童員の担当が、落合と鶴巣で町の東部に位置していますので、毎年毎年、児童生徒が減っているというような状況です。</p> <p>落合に関しては、子育て支援住宅を16戸整備していただき、そのおかげで児童生徒もいっぺん増えたという感じはしますが、地域では子どもの姿がほとんど見られません。</p> <p>現在、落合小学校は30人、鶴巣小学校は38人だったと思いますが、落合では少し前から複式学級が始まっていて、鶴巣においては今年度初めて複式学級となり、どう対応していいかわからないというようなことも伺っています。</p> <p>そのような状況の中、児童館の果たす役割がものすごく重要であり、学校が終わったあと、児童館でお迎えを待ったり、宿題をやったり、みんなでコミュニケーションを取ったりしています。</p> <p>落合では、母親クラブがもう60年ぐらいつと続いています。今年度ももって解散することになりました。先日、母親クラブとして最後の行事を行いました。和気あいあいと子どもたちとご父兄の方々と一緒に時間を過ごし、帰るのを忘れるくらいに盛り上がりました。こういう会をなくしてしまうのも心苦しいというか、こういう場がもっとあったらいいなと、寂しい気持ちも多々ありましたが、本当に若い人がいないため人材確保が難しいです。</p> <p>また、読み聞かせボランティアとして役職関係なくずっと携わってきましたが、子どもたちの顔色を見て、こちらでもエネルギーをいただいていたのですが、新型コロナウイルス感染症の流行により、子どもたちの顔の表情が消えました。なかなか感情を出すこともなく、マスクですべて口元が隠れていたため、子どもたちの目だけで感情を測ることが難しく、新型コロナウイルス感染症でだいぶ狂ってしまったと感じています。</p> <p>また、子どもの数が少なくなったから学校を統合するということは、個人的にはどうなのかと思っています。小規模校は、小規模校なりの特徴を生かすかたちで、なるべく残していくべきだと思います。</p>

平岡会長	<p>こちらの事業としては、31 ページの児童支援センター運営事業や、32 ページのみんなで遊び場道場等について、地域で子育てをどのように考えていくかということとの関連があるかと思えます。</p> <p>地域と子育てということで、子ども家庭課や生涯学習課の考えや、何か実施していることなどありましたらお願いいたします。</p>
子ども家庭課長	<p>児童支援センターについては、安海委員ご発言のとおり、新型コロナウイルス感染症の影響が大きくありましたが、令和6～7年度は流行前の状況に戻りつつあります。一方で、少子化の影響が出てきております。</p> <p>また、幼児教育の無償化により、児童支援センターの利用形態も大きく変化しております。以前は午前中から親子の来所が見られましたが、現在は幼稚園の無償化の恩恵を受ける方が増え、午後の利用が中心となっております。</p> <p>児童館の利用者数についても、小規模校区では利用者が大幅に減少しております。その中で、落合児童館は子育て支援住宅の影響により利用者が増加しております。その他の児童館については厳しい状況も聞いておりますが、前年度と比較して大きく増加しているのは落合児童館という状況です。また、未就学児の利用が伸び悩む状況が続いておりましたが、児童館職員の取組により、ようやく回復してきております。</p> <p>以上、十分な回答になっているか分かりませんが、現状の報告です。</p>
生涯学習課長	<p>まず、様々な協働教育事業でご協力いただいておりますことをこの場をお借りいたしまして感謝申し上げます。</p> <p>みんなで遊び場道場につきましては、年2回、主に昔遊びと言われる木工遊びや、火起こし、シャボン玉、ダンボール工作等の外で遊ぶことの大切さを親子で体感しましょうという授業となっております。この事業につきましては、来年度から協力いただいている団体に引き継ぎを行う予定で事務を進めておりました町の事業として行うのは今年度が最終となっております。現在どのように引き継いでいくかというところは、団体との調整を行っています。</p> <p>他には、家庭教育支援ということで、主に子育てをしている保護者の方へのサポートを様々行っております。</p>
平岡会長	<p>このように、町で実施していた事業が他の団体に引き継がれるということも、一つ前向きの話かなと思っております。</p> <p>PTA 連合会会長の内田委員はいかがでしょう。</p>
内田委員	<p>昨年度 PTA 連合会会長を務めさせていただきました。私の子どもは中学生となり、本プロジェクトの対象世代より上になりますが、近年は共働き世帯が増え、0歳児から保育園を利用する家庭も多いことから、児童館の利用者数が減少している可能性もあると感じています。そうした状況を踏まえると、今後は働く保護者とその家庭への支援を充実させることが、町の魅力向上につながるのではないのでしょうか。</p> <p>物価高騰等の影響もあり、父親の収入のみでは家計を維持しにくく、母親が育休後に早期復職し、乳児期から保育サービスを利用する家庭が増えていると思われる。その際、子どもが風邪をひいた場合などに預け先がなく困ることが多いため、27 ページの病後児保育事業のような受け皿があることは大きな安心材料になります。私自身も実家が宮城県外のため、子どもが体調を崩した際に誰が対応するかという課題を感じてきました。</p>

(続き)	<p>また、県外から転入してくる大企業の勤務者にとっても、子育て支援が充実していることは居住地選択の重要な要素になります。新しい世代の保護者が安心して子育てできる環境とは何かに着目し、今後も事業を進めていただきたいと思います。</p>
出羽委員	<p>内田委員の発言を受けて発言します。私は仙台市で児童館館長を6年間務めました。仙台市には児童館が84館あり、運営に携わる中で感じたことがあります。</p> <p>先ほど生涯学習課長からも説明がありましたが、児童館運営においては、各館の企画や特色づくりが利用につながると考えます。仙台市では、他区の児童館の評判やSNS等を見て「面白い行事がある」と知り、赤ちゃん連れで遠方から来館する事例もあります。</p> <p>保護者は、例えば子育てに関する講話を定期的実施するなど、継続性のある取組に強い関心を示します。また、吉岡児童館長と話した際、子育て期の保護者は負担やストレスが大きいことから、保護者支援の観点で「親子ヨガ」を行事として取り入れていると伺いました。仙台市で実施していた取組を参考にして昨年度から導入したもので、親子で参加でき好評であり、継続予定とのことでした。</p> <p>このように、「利用が減っている」「来ない」という結果だけで捉えるのではなく、各館が工夫し特色ある取組を行うことで、利用者を呼び込むことは可能だと考えます。これは学校教育にも共通し、特色ある学校づくりが保護者の関心を高め、学校選択にも影響します。</p> <p>ですから結果論にとどまらず、今後どうするか、どう進めるかにより重点を置いて検討することが、教育面でも児童館運営面でも成長につながると考えますので、幅広く情報収集を行い、その知見を運営に生かせる児童館づくりを進めていただきたいと思います。</p>
生涯学習課長	<p>貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>少し説明しきれない部分もありますが、まず、県の「子育てサポーター」養成講座を受講し、登録している方が町内に約50名います。これらの方々にご協力いただき「遊び場道場」や、3歳児頃までの子どもを育てる母親を対象とした「ニコニコママサロン」を実施しています。</p> <p>「ニコニコママサロン」では、子育てサポーターが託児を行い、母親がリフレッシュできる時間を確保しています。また、子育ての先輩として相談を受けたり、話を聞いたりする場も設けています。その他、幼児向け企画を実施している児童館等とも連携し、必要に応じて支援を行っています。家庭教育については、生涯学習課の所掌として推進しているところです。</p> <p>今後も継続的に取り組む必要がある分野ですので、引き続き、有益な情報がありましたらご教示をお願いいたします。</p>
子ども家庭課長	<p>児童館は民間の力を借りて運営しています。吉岡児童館につきましては民間団体にお申し、児童が楽しめるような事業を行っていただいています。</p> <p>また、放課後児童クラブでは、「ゼロ円農業」ということで、一切お金をかけないで、子どもたちと一緒に1年間農業を体験する事業も実施しています。</p> <p>ご意見のあった様々な事業を検討していきたいと考えております。</p>
平岡会長	<p>この病後児保育事業について、数字として登録147人で、延べ60人という数字が出ていますが、この内訳や状況としてはいかがでしょうか。</p>
子ども家庭課長	<p>病後児保護事業につきましては、令和3年度から黒川病院の敷地内で実施しており、現在、富谷市を含む黒川郡に住所を有する方、または大和町に仕事で来ている従業員の方を対象としています。</p>

(続き)	<p>病気中の児童は対象外ですが、病気後、回復期の児童をお預かりする事業となります。大体、延べ60人ぐらいの利用となっております。</p> <p>1日に預かれる児童は定員3人となっております、職員につきましては保育士2名が常駐しております、必要に応じて黒川病院から看護師医師を派遣していただいています。</p>
平岡会長	<p>状況が分かりました。他になければ、基本目標3は以上とさせていただきます。続いて、基本目標4について、ご意見ご質問があればお願いいたします。</p>
安藤(宏)委員	<p>土地家屋調査士の安藤です。40ページの公共下水道施設のアセットマネジメント及び耐震化の推進について、こちらは全国でも話題になっている下水道の老朽化、いわゆるインフラ整備に関するものですが、町としてどのような計画で、どのくらい更新しなければいけないのかなど、分かる範囲で教えていただきたいです。</p>
上下水道課長	<p>埼玉県の話もありますので、皆様方も関心があると思います。コンクリート製の管が腐食により一部が剥落したものです。現在、下水管は塩化ビニル管が主流ですが、一部コンクリート管が使用されている箇所もあります。そういった箇所については、適宜、確認を行っています。</p> <p>また、国からの緊急点検の要請を受け、下水管に限らず雨水管を含む大口径管路についても点検を実施しました。対象となったのは工業団地の雨水管で、点検の結果、補修が必要な箇所が確認されたため、順次補修を進めていきます。</p>
平岡会長	<p>40ページの公共下水道施設のアセットマネジメント及び耐震化の推進について、KPIが「調査済み延長」となっていますが、令和4年度にほぼ調査が完了しているとの理解でよろしいでしょうか。</p> <p>その場合、今後は調査ではなく、改修・耐震化に向けた施工計画の策定や実施の段階に移行しているということでしょうか。あわせて、施工計画の進捗状況、または進捗率が分かれば教えてください。</p>
上下水道課長	<p>調査の結果、修繕が必要な箇所が確認されております。該当箇所については今年度も修繕を実施しており、来年度も引き続き修繕を行う計画です。</p> <p>また、その他の箇所については5年ごとの点検となるため、そのサイクルに沿って進めていくこととしています。</p>
平岡会長	<p>では、5年ごとの点検結果に基づき、優先順位を付けて対応しているという理解でよろしいですね。ありがとうございます。</p> <p>それでは、基本目標4については一旦ここまでとします。全体を通して、改めてご意見や確認事項があればお願いします。</p>
一同	<p>特になし</p>
平岡会長	<p>では、私から1点だけご検討いただきたい点があります。事業評価シートについて、各担当課で記入していると思いますが、まず、事業概要は、当該事業の目的や方針を記載する欄として整理するのが望ましいと考えます。</p> <p>一方で、シートによって2番目の項目名が異なっており、例えば10ページは「事業の効果等」、22ページは「事業の内容と実績」となっています。これは様式が統一されていないという理解でよろしいでしょうか。</p> <p>また、「事業の内容と実績」の欄について、記載が「～を凶る」「～が見込まれる」「～に資する」等の目標表現にとどまり、実績として何を行ったかが読み取りにくいものが見受けられます。可能であれば、実施した内容や件数、回数など、具体的な実績を記載し、実施できなかった場合はその旨も含めて記載いただくと、事業の評価がより明確になると思います。</p>

(続き)	<p>併せて、様式が更新されたものとそうでないものが混在しているように見えるため、可能な範囲で書式の統一をお願いしたいです。具体的な実績が示されていれば、KPIの達成状況だけでは評価が難しい場合でも、実施内容を踏まえて「数値上はEだが所見としてはC相当」など、評価の根拠が分かりやすくなり、委員側としても納得感が高まると考えます。</p> <p>以上、様式の統一と記載方法の改善についてご検討をお願いします。</p>
事務局 (鈴木)	<p>大変申し訳ございません。事業の効果等と内容の実績の欄が2つありましたが、正しくは事業の内容と実績ということで、次回以降統一させていただきます。また、記載内容も事業内容や目標表現ではなく、実績について記載するように今後ルール付けをしたいと思いますので、よろしくお願いたします。</p>
平岡会長	<p>その点について、説明が整理されていれば、事業評価はCを基本としつつ、取組が十分にできているものはAまたはBとするなど、評価の根拠がより明確になると思います。また、取組方針として「縮小」や「廃止」となっている事業もありますので、その理由や考え方についても、「所見」や「課題・改善内容」の欄に記載していただければと思います。</p> <p>長くなりましたが、本件の議論は以上とします。</p>
平岡会長	<p>それでは、次の議事に移りたいと思います。</p> <p>「(2) 大和町第五次総合計画（改定素案）について」事務局より、説明をお願いします。</p>
事務局 (鈴木)	<p>資料2により説明</p>
平岡会長	<p>ただいま資料2に基づき説明がありました。本件の主な論点は概ね3点です。</p> <p>1点目は、重点プロジェクトの基本目標1から4を、国の地方創生2.0の枠組みに沿って再編するという内容です。従来の取組から内容が漏れないよう配慮しつつ、国の枠組みに合わせて基本目標1から4を変更したとのこと。</p> <p>2点目は、第2章から第4章ですが、具体的な内容として、令和6年度を基準値としたKPIにより、実績の確認・評価を行っていく点です。</p> <p>3点目は、今回の計画の特徴でもある「地域別まちづくりの方針」です。5地区それぞれについて素案が示されており、12月中旬に予定されている各地区の町民懇談会でも提示される内容であるとのこと。</p> <p>以上を踏まえ、委員の皆様からご質問があればお願いたします。</p>
文屋委員	<p>本資料について、今さら是非を述べるということではありませんが、全体として「今後こう進める」といった将来に向けた記述が多い中で、今後の取組の足かせになり得る点が1点あると感じました。それは空き家問題です。</p> <p>鶴巣地区では、約60戸のうち6戸ほどが空き家となり、手つかずの状態が続いています。所有者の所在が分からない例もあり、状況としては深刻です。今後、空き家がさらに増えていくことは避けられないように感じています。</p> <p>このような負の遺産とも言える課題を放置すると、影響が及ぶのではないかと懸念があります。先行投資も含め、将来を見据えた空き家対策について、何らかの解決策を検討し、取り組んでいただきたいと思います。</p>
荒木委員	<p>空き家は私も質問しようと思っており、対策は非常に重要だと考えています。</p> <p>報道で、大分市佐賀関の大規模火災に空き家に関係していたと聞き、大きな懸念を抱きました。空き店舗の活用もまちづくりの一環として重要ですが、空き家は老朽化が進みやすく、災害リスクの増大にもつながる可能性があるため、この点も含めて検討いただければと思います。</p>

(続き)	<p>また、冒頭の説明にもありましたとおり、子どもの数が減少していることを実感しています。私自身、母親クラブに関わっていますが、子どもが少ない中で、これまでどおりに夏祭りや各種大会を実施するだけでは難しく、内容や運営方法を工夫していく必要があるという悩みが増えているのが現状です。</p> <p>今回、これだけのプロジェクトを策定している以上、計画にとどまらず、実行につながる形でまちづくりを進めていただきたいと思います。</p>
平岡会長	<p>ただいま、2人の委員から空き家に関するご意見がありました。資料「地方創生1.0と地方創生2.0の比較」にもあるとおり、1.0では人口減少を押しとどめることを前提としていたことに対し、2.0では人口減少が進むことを前提に維持を図る考え方となっています。したがって、空き家対策についても、もう考え方を改めていかなければならないと思います。</p> <p>空き家については、空き店舗の活用や創業支援など活用による対応もありますが、一方で、どう畳むかといった整理、縮退の視点も含めて検討すべき段階に来ているのではないのでしょうか。特に、中心市街地のように一定の賑わいが見込める地域以外の、中山間地域にある農家住宅や民家等については、活用よりもしまい方・畳み方が課題になりやすいと考えます。</p> <p>なお、33ページの商業分野では、空き店舗の観点から活用の考え方が示されていますが、生活の観点から見ると、先ほどのご意見のように、必ずしも無理に活用を前提としない対応も必要になると思います。</p>
大宮司委員	<p>文化財保護委員会を担当しています。先日、栗駒や伊豆沼のジオパークを見学しました。自然を生かした地域活性化の取組が進んでおり、大和町の町民憲章にも「自然豊かに」とあるとおり、自然資源を活用した活動は非常に意義深いと感じました。七ツ森周辺でもダム周辺の観光整備などが進んでおり、賑わいを創出し人を呼び込む取組として大変参考になりました。</p> <p>一方で、町には自然だけでなく、歴史遺産や伝統文化といった資源も多く存在します。奥州街道に加え、より古い東山道の通り道であった可能性もあり、多賀城創建1,300年に関連する古い交通路が鶴巣周辺を通過していたとされるなど、諸説あるものの、活用し得る歴史資源が町内に多く残っています。しかし、現状では十分に生かされていないと感じています。</p> <p>こうした地域の歴史・文化を掘り起こし、地域づくりに生かすとともに、子どもたちの学習・教育にもつなげていくことが重要だと思います。以前、総合的な学習の時間で、鶴巣大平に城跡があることを知った子どもたちから、現地への行き方や説明を求められ、実際に案内して解説したことがあります。現地には崩れた箇所もありますが、石垣の一部や井戸跡等が確認でき、子どもたちが強い関心を示していました。町内には、地域の歴史や文化を学ぶ上で価値のある遺構が多数残っていると考えます。そのため、必要な予算措置も含め、歴史・文化資源の保存・整備と活用を進めていただきたいと思います。</p> <p>例えば、信楽寺周辺では、県による発掘調査が行われたにもかかわらず、現地在草に覆われ、近接地に住宅建築が進むなど、調査成果が十分に生かされていないように見受けられました。</p> <p>七ツ森に登るなど自然を楽しむ取組に加え、山麓に残る文化・歴史資源も含めて活用し、地域づくりにつなげていただきたいと思います。</p>
平岡会長	生涯学習と教育、観光等といろいろ関係してくる、広いご意見でした。
事務局 (遠藤)	大宮司委員のご意見のとおり、本町にとっては歴史的資源も大いにありますので、観光分野に歴史的資源の活用について加えさせていただきます。

石渡委員	<p>重点プロジェクトの枠組みを変更するという説明があり、興味深く拝見しました。大きく変わる点として、デジタル分野を方針の一つとして位置付ける旨が示されていました。</p> <p>23 ページでは、これまではデジタル実装が下支えするかたちで4本の基本目標を支える整理でしたが、今後は、基本目標4としてAI等のデジタル技術など新技術を活用することを大きく位置付け、重点項目として推進していくという理解でよろしいでしょうか。</p> <p>その上で質問ですが、これを進めていくに当たり、庁内で新たな組織体制を整備する予定があるのか、また、町民や関係者が参画する仕組み等を含め、体制面での変更点があれば教えてください。</p>
総務課長	<p>町では、現在、DX推進計画を定めており、令和8年3月までを第一次としております。来年以降を第二次として、ただいま検討中ですが、策定にあたっては、庁内組織としてプロジェクトチームを立ち上げて進めていこうという考えです。</p>
石渡委員	<p>私どもも製造業ですが、最近ではAIの活用が進んでおり、業務改善に大きく役立っていると実感しています。例えば、会議の議事録作成についても、AIで作成したものを確認・修正する形にすることで、作業時間の短縮につながっています。</p> <p>また、製造工程ではさまざまな課題やトラブルが発生しますが、過去事例をデータベース化し、AIが類似事例や有効な対応策を抽出することで、対策検討の効率化を図っています。</p> <p>町の業務とは分野が異なるため、そのまま同様に活用できるかは分かりませんが、共通点がある部分もあると思います。可能であれば、こうした知見も含めて連携させていただき、デジタル活用を通じて町の取組の活性化につながればと考えています。</p>
平岡会長	<p>本日初めての参加ですが、菅原委員から何かご意見いかがでしょうか。</p>
菅原(芳)委員	<p>皆様から活発なご意見があつて、非常に熱意があるなど感じておりました。貴重な機会をありがとうございます。</p> <p>今回が初めての参加で、皆様のご意見やお話を伺っておりましたが、多様なアイデアが出る一方で、町として今後どの方向を目指すのかという「柱となる方針」が、やや見えにくいと感じました。</p> <p>先ほど、歴史や自然といった資源についてのご発言がありましたが、私としては、大和町の強みは「歴史のある町」であること、そして「自然が豊かな町」であることだと考えています。その点に関連して、議論の中でインバウンドについての話題があまり出てこなかったことは、少し残念に感じました。</p> <p>ぜひ観光分野をより活性化し、税収の増加につなげ、その成果を子育て支援等にも還元することで、出生率の向上や町の発展に結び付けていただければと思います。</p>
平岡会長	<p>ありがとうございます。そのほか、皆様から何かありませんか。</p>
事務局(鈴木)	<p>資料の補足になりますが、先ほど説明した重点プロジェクト、地方版の総合戦略につきましては、年内に国の総合戦略が公表される予定となっております。その中身次第では、若干変更になる可能性がありますこと、お含みおき願います。</p>
平岡会長	<p>事務局から補足がありました。</p> <p>現行計画は令和4年3月に策定されており、今回、草案として初めて修正案が示されたものと理解しています。中間見直しですので、全体として大きく変更された点はそれほど多くない印象です。</p>

(続き)	もし、現時点で特段のご意見がなければ、後ほど資料を改めてご確認いただき、後日、意見書にてご回答いただくという進め方でよろしいでしょうか。
一同	異議なし
平岡会長	それでは、時間の都合上、この議論は一旦ここで区切らせていただきます。最後の議事に移りたいと思います。 「(3) 大和町第五次国土利用計画（改定素案）について」事務局より、説明をお願いします。
事務局 (鈴木)	資料3により説明
平岡会長	只今、事務局から説明がありました。皆様からご意見・ご質問などをいただきたいと思いますが、何かございませんでしょうか。
一同	特になし。
平岡会長	昨年度開催した本審議会において、町長から諮問書を受けておりますので、審議会として答申を行う必要があります。 本日の皆様のご意見を踏まえ、答申案の骨子としては、本日の議論を踏まえ、私から申し上げた「実績の具体的な記載」などについても、必要に応じて文言を補足したいと思います。 1点目の重点プロジェクトの実施状況については「事業の実施状況報告等も踏まえつつ、適切な数値設定や評価の在り方を検討し、計画の着実な実施を図ること」という方向でまとめる案でいかがでしょうか。 2点目として、第五次総合計画の改訂については「引き続き、組織横断的な議論を十分に行うとともに、将来を見据え、行政・町民・事業者等がそれぞれの立場でまちづくりの機運を高められるような改訂とすること」という方向でまとめる案でいかがでしょうか。 以上が私からの提案ですが、いかがでしょうか。なお、文言については今後調整が入る可能性があります。
一同	異議なし
平岡会長	それでは、答申書の作成につきましては、事務局と調整のうえ、松川会長職務代理にも確認をしていただいて、作成したいと思います。 後日、私から町長へ答申し、皆様には、答申書の写しを送付することとさせていただきますと思いますが、よろしいでしょうか。
一同	意義なし。
平岡会長	ありがとうございます。では後日、町長へ私から答申いたしますのでよろしくをお願いします。
	6. その他
浅井委員	以上で次第にある議事等は全て終了となります。続きまして「6. その他」になりますが、事務局から何かありますか。
事務局 (鈴木)	下記について説明 (1) 町民懇談会の開催及びパブリックコメントの実施について (2) 次回総合計画審議会の日程について (3) 意見書の提出について

平岡会長	ただいま事務局より3点説明がありましたが、皆さまから何かご質問等はございませんでしょうか。
荒木委員	最後に申し訳ありません。資料にカタカナ表記が多く、これはどういう意味だろうと感じる箇所がありました。例えば、コワーキングスペースやサテライトオフィスなど、今の時代に合わせた言葉が使われているのは理解できますが、読む人によっては、それは何のことか分かりにくいのではないかと思います。 特に、町民の皆さんが資料をご覧になる場面を考えると、高齢の方ほど戸惑う可能性があるため、カタカナ用語の後に日本語の説明を添えるなど、意味が分かる表記にさせていただくと親切ではないでしょうか。
事務局 (鈴木)	ご意見ありがとうございます。注釈を追加させていただきます。
平岡会長	時間はあまりありませんが、そのほか皆様から何かご意見ご質問等ありませんでしょうか。
一同	特になし。
平岡会長	それでは、色々のご意見を頂戴しましたけれども、これからの計画策定等に活かしてもらいたいと思います。 本日の議事を振り返り、町長から一言お願いいたします。
浅野町長	改めまして、長時間にわたり貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。 今回の重点プロジェクトの事業改善ならびに計画策定に関し、皆様から頂戴したご意見・ご提案は、今後のまちづくりに十分生かしてまいります。また、新たな施策の可能性についても、引き続き検討していきたいと考えております。 今回は、10年間の町の最上位計画の中間見直しを前倒しで実施したのですが、現在、企業の設備投資が積極的に進む状況にあることを踏まえ、機を逸することのないよう、前倒しで改訂作業を進めているところです。 本計画は、皆様とともに変化を捉えながら、今後の大和町の未来をかたちづかっていくための重要な指針になると考えております。次回以降もご協力をお願いすることがあるかと思いますが、引き続きよろしくようお願いいたします。 まずは、貴重なお時間を頂戴したことに心より感謝申し上げ、私からのお礼の挨拶といたします。
平岡会長	それでは、本日の議事は以上となりますので、事務局へお返しいたします。
事務局 (遠藤)	本日は委員の皆様から様々なご意見をいただきまして感謝申し上げます。閉会の挨拶を松川会長職務代理にお願いいたします。
松川 会長職務 代理	本日は、重点プロジェクトの令和6年度の事業評価と総合計画及び国土利用計画の改定素案について、活発なご審議をいただき誠にありがとうございました。 重点プロジェクト、もとい地方版総合戦略は、総合計画と平行して町の未来を創造する重要な計画でもございますので、着実な事業の実施をお願い申し上げます。また、総合計画及び国土利用計画は、それぞれ、まちづくりと町土の利用に関する最上位の計画であり、今後の大和町の在り方を決める重要な計画です。 事務局からも先ほど事務連絡があったとおり、来年2月頃に、改定原案について再度ご審議いただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。 本日は誠にありがとうございました。

	6. 閉会
事務局 (遠藤)	以上をもちまして、令和7年度第2回総合計画審議会を閉会いたします。大変ありがとうございました。

以上

上記のとおり相違ないことを証するためここに署名いたします。

議事録署名委員

大和町総合計画審議会 会長 : 平岡 善浩

大和町総合計画審議会 会長職務代理 : 松川 利充